**第３号議案 ２０２１年度事業計画承認の件**

１　事業実施の方針

新型コロナウイルス感染の終息には、まだ相当の時間がかかると予想され、セミナーなどの開催は小規模での実施とし、研修などの啓発事業も昨年に引き続き大幅な減少が予想されます。その状況下ではありますが、以下の事業を中心に取り組もうと計画しています。

1. 「地区防災計画の推進」

地域防災活動を推進するうえで、課題となっているのが、担当者任せや、マンネリ化、弱体化などによる地域での防災活動の継続性です。それらを解決するためには、地域住民全体で取り組むための「地区防災計画」の推進です。

1. 「防災マップ作成の推進」

水防法の改正によりハザードマップが更新されています。それに応じて、防災マップも見直しが必要になっています。これを機会に、より実践的な防災マップの作り方などの作り方などを広めていきます。また、マップ作りから、地区防災計画の必要性についても訴えることが出来、さらなる展開を図っていきたい。

1. 「個別避難計画作成の推進」

要援護者の避難支援を確実に実行するためには、「個別避難計画」の作成が鍵となります。個別避難計画の作成の意義や、作り方などを広め、当会で作成した「避難力のガイドブック」と併せて、水害・土砂災害からの命の守り方を広めていきます。

1. 「感染禍における避難所等の対応の在り方」「感染禍における災害ボランティアセンター運営」などに関する研究

新型コロナ感染禍の影響で、避難所や災害ボランティアセンターにおける「新しい様式」が必要となっています。昨年度の取組を踏まえ、その研究を進めていきます。

以上の4つの事業を中心に、啓発活動も感染防止対策を図りながら進めていきます。

２　事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 具体的な事業内容 | 1. 当該事業の　　　　実施予定日   (B)当該事業の　　　実施予定場所  (C)従事者の予定人数 | (D)受益対象者の範囲  (E)予定人数 | 事業費の  予算額  （千円） |
| 1. 防災意識の普及、啓発事業 | ・自主防災組織リーダー養成セミナーの開催  自主防災活動のための人材を育成する | 1. 年３回 2. ユーアイふくい   県生涯学習会館  など   1. １０人 | (D)自主防災活動に関わる市民(E)延べ90人 | ３００ |
| ・地区防災計画の推進事業 | (A)年４回  (B)各地域  (C)１０人 | (D）自主防災活動関係者  (E)約６０人 | ３１０ |
| ・防災マップ作成の推進事業 | (A)年６回  (B)各地域  (C)２０人 | (D）自主防災活動関係者  (E)約１００人 | ３１０ |
| ・防災・減災に関する啓発講演等の実施 | 1. 随時 2. 要望場所 3. ３人 | 1. 自主防災活動に関わる市民 2. 不特定多数 | １１８３ |
| 1. 防災・減災に関する研究事業 | ・感染禍における避難所等の対応の在り方に関する研究 | 1. 年3回 2. 敦賀市プラザ万象・事務所   熊本県   1. ４人 | 1. 自主防災活動に関わる市民 2. １０人 | ５０ |
| ・感染禍における災害ボランティアセンター運営ついての研究 | 1. 年3回 2. 福井市地域交流プラザ・事務所 3. ４人 | 1. 災害ボランティアに関わる市民 2. １０人 | ８０ |
| 1. 災害被災地への支援事業 | ・災害発生時の現地調査及び支援策の策定・実施 | (A)発災時  (B)被災地  (C)３～５人 | (D)被災地・被災者  (E)不特定多数 | ２０ |
| 1. ４．防災・減災活動団体への支援事業 | ・防災活動を推進するための相談活動  　各地の防災活動団体への助言や相談への対応 | (A)随時  (B)事務所にて  (C)２～３人 | (D)防災活動団体関係者  (E)不特定多数 | １５ |

* 1. その他事業　無し